



進路決定後の時期を有効活用し モチベーションアップを図る

近畿大学附属高等学校(大阪・私立)



早期に進路決定した3年生に 海外で挑戦し成長する機会を提供

全国の高校でも近年増加している推薦・AO入試での合格者と同様に、近畿大学附属高等学校では約半数が3学年2学期のうちに特別推薦制度を使っている。近畿大学進学が決まる。そのため、残りの高校生活において、彼らのモチベーションと学力をいかに引き上げるかが課題となっている。その対策の1つとして、同校は2010年度から近畿大学進学内定者を対象としたオーストラリアでの英語研修(希望制)を開始。ホームスティしながら語学学校に通うという、英語漬けの3週間のプログラムを展開している。

近畿大学入学前 英語研修の概要

ねらい	・英語コミュニケーション力向上 ・人間力を高めること		
訪問先	オーストラリア(ヌーサほか)		
対象/定員	近畿大学進学が内定している3年生/なし(例年50人程度)		
時期/期間	1~2月/3週間		
主なプログラム	・語学学校通学 ・ホームスティ		
事前学習	2回程度のオリエンテーション		
事後学習	振り返り、感想文提出		
生徒負担費用	約38万円	研修開始	2010年度



>> 早期進路決定者対象

次の目標に目を向けさせる

進路決定という1つの目標をクリアし、気が緩んでいる生徒には、海外研修は次の目標に向けて動き出すきっかけに。また、既に次のステージに目を向け始めた生徒にとっては、思い切りジャンプできるよい機会となる。参加生徒の多くは、語学力を鍛えるだけでなく、日常にはないさまざまな刺激から「大学進学後も頑張ろう」という気持ちを育て卒業していくという。



>> 事前準備・プログラム

「個人留学」のつもりで鍛錬

事前オリエンテーションでは、「進路が決まった今は、ゴールではなく、将来グローバル社会で活躍するためのスタート地点。次の目標に向かって頑張ろう」とメッセージを送り、「個人留学」のつもりで自分を鍛えるよう指導している。現地で生徒は2~3校の語学学校に分かれ、レベル別クラスで受講。ホームスティは1家庭に1人。研修中は基本的に「Only English」で過ごす。



>> 引率教員

教員も現地で語学学習が可能

同研修には、参加生徒数に応じて2~3人の教員が同行する。現地では教員も生徒対応の合間に語学学校の授業を受講可としており、担当教科によらず自己研鑽意欲の高い教員が手を挙げて引率している。過去の引率者のなかには、語学学校の授業の手法を参考に自身の授業を改善したり、語学の面白さに目覚めて新たに英語科教員免許を取得した他教科教員もいるという。

先生からひと言 /

大学でよいスタートを切れるように

家庭にとっては大学進学費用がかさむ時期の研修ですが、実施初年度から予想を大きく上回る60人前後の参加がありました。仕事で英語力や国際感覚の必要性を痛感されている保護者も多いようで、生徒の挑戦を後押ししてくださっています。

我々の役割は生徒の進路が決まれば終わりではありません。卒業生調査によると、大学卒業

時点の成績は、高校時代の成績とはあまり相関がないのですが、大学1年次の成績とは相関がみられます。入学時によいスタートを切ることが、大学生活全般を充実させる1つのカギといえるのではないのでしょうか。海外研修を活用し、最大限に生徒のモチベーションを高めて大学へ送り出したいですね。(教頭・田中聖二先生)

参加費以外の学校負担費用



約80万円

※引率教員の旅費等
(学校予算より)



高大一貫教育部



アーク・スリー・インターナショナル、ネクシスジャパン